



未来に残じりたい景色は、



どちらですか？

私達はペットボトルなどのプラスチックゴミが海岸にたくさん落ちているのを見て、減らしたいと思いました。でも、私達だけではゴミ全部を減らすことは難しく、あきらめかけたときもあったけど、地域の人たちの地元に対する熱い思いを知って「あきらめちゃいけない。がんばろう。」と、思うことができました。

数人では解決も難しいけど、みんなで力を合わせてやれば、乗り越えられると思います。

「一人の百歩よりも百人の一步」の方が、このゴミ問題には必要だと思います。

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

海洋教育センター
CENTER FOR OCEAN LITERACY AND EDUCATION

笹川平和財団
©PRM 海洋政策研究所

令和2年度和歌山市立

雑賀小学校6年3組